

遠野に移住し起業を目指す皆さんを紹介 Vol.18
遠野で起業に挑戦中!

平成28年から市と(株)ネクストcommonsが手がける「ローカルベンチャー事業」。遠野に移り住んだ隊員の起業・事業化に向けた活動の様子やイベント情報などをお伝えします。

レポート01

「巢パコ」が被災地支援に貢献

小関直隊員が開発した組立式ハウス「巢パコ」(旧名アセントルーム)が、本年10月の台風で甚大な被害に遭われた宮城県丸森町のボランティアセンターに設置されました。現地では、電話やミーティング、面談、休憩などさまざま

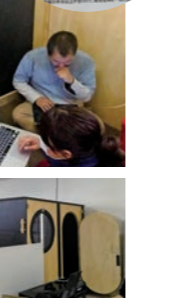
な用途に役立ち、職員の皆さんの活動を支える空間を作っています。普段は事務所で使えて、災害時には被災地支援に活用できる「巢パコ」。皆さんの事務所にもいかがですか?

超低コスト住宅研究会 検索

小関さんが手掛けるバン用車中泊ハウス「巢パコ」がTVや雑誌に取り上げられています→



1・2_場所に関わらずさまざまな用途に利用できる「巢パコ」。詳しくは、ホームページへ!



レポート02

**『ここから見える物語』出版記念イベント
 ～遠野・山口集落の暮らしを「食」を通して伝える～**

本年10月27日、山口集落の暮らしを「食」を通して伝える冊子『ここから見える物語』の出版記念イベントがCommons Space(一日市)で開かれました。イベントには、市民ら約30人が参加。山

口集落の「おなごだづの会」の皆さんが煮しめやふかし、豆しとぎなど本に登場する郷土料理を振る舞いました。同冊子は、宮本拓海隊員が編集・執筆を担当。commonsスペースで販売しています。



1_ 伝統料理の作り方や食材の保存方法などを掲載した一冊 2_ 出版を喜ぶ会員ら

遠野文化研究センターだより とおのじん -其の18-

遠野人

★筆者 くろだ あつし 黒田 篤史

文化課主任兼学芸員。1978年、北海道生まれ。専門は考古学。現在、千葉家住宅の整備事業のほか市内文化財の保存活用に携わっている。



遠野文化研究センターの活動に興味を持っていただけるような情報をお届けしています。今月は、修理中の「千葉家住宅」についてのお話です。



修理前の千葉家住宅外観

遠野が世界に誇るものの一つに茅葺屋根の曲り家があります。人と馬が一つ屋根の下で暮らす、先人の知恵と工夫が詰まった農家住宅です。その頂点と呼

ばれるのが綾織町にある国指定重要文化財千葉家住宅(以下、千葉家)です。千葉家のすごいところは、お城のように石垣の上にそびえ立つ巨大な茅葺の曲り家が江戸時代からほぼそのままの形でまるごと残っていることで、周辺の風景まで含めてすごい。こんな農家、日本全国、世界にも類を見ません。

さて、この千葉家、建築から180年が経過して、保存が危ぶまれるほど傷んでいました。そこで市は、公有化し、平成28年から国の支援を受けて「世紀の大修理」に着手。令和7年にグランドオープンする計画です。現在は、建物を丁寧に解体し終え、石垣を積み直す工事を進めており、来年度以降は地盤補強工事、建物の組立工事と順次進められていく予定です。

千葉家はどのように生まれ変わのでしょうか。曲り家やその他の建物は、千葉家が隆盛を極め敷地全体が整えられた明治40年代から戦前の姿に復原します。では、生まれ変わる千葉家をどのように使うのか、それを具体的に考える時期になりました。そこで、11月4日に「シンポジウム 重要文化財 曲り家千葉家から創る未来一世紀の大修理その後を考える」を開催しました。

シンポジウムでは、岩手県議会議員で元NHKの人気アナウンサー上原康樹さんに特別講演をしていただきました。上原さんは、NHK時代に何度も千葉家を訪れており、当時から千葉家のことを「時代の呼吸を感じるようで、圧倒された。この家は大切にしなければ

ならない」と感じていたそうです。さらに、「遠野、千葉家住宅が、日本の文化、観光の拠点として広がってほしい」と期待を寄せています。

同日は、これまで千葉家の活用を考え活動してきた市民の有志を中心としたグループ「重文千葉家の活用を考える会」(及川博弘会長、会員62人)の活動と同会会員で建築家の安宅研太郎さんから、これまで考えてきた未来構想を報告していただきました。その構想は、千葉家周辺地域全体で文化を継承し、楽しく暮らせる場をつくることによって、地域の価値を高めるといふものです。

続く各分野の有識者によるパネルディスカッションでは「地域が一丸となって千葉家を支える取り組みは心強い」「普段の暮らしのおすそ分けという観光を」「AI、VRの社会では、逆に実体験が価値を持つようになり千葉家にとってチャンス」などの意見が交わされました。

シンポジウムでは、千葉家の価値の高さと、可能性を再認識し、真の豊かな暮らしを生み出す拠点として整備していく方向性が示されました。そのためにも、市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

★講座のお知らせ

遠野文化研究センター講座・ナイトミュージアムシアター
映画を携えて -サレルノから遠野へ-
 サレルノ国際映画祭短編部門最高賞受賞作品「オシラ鏡」の上映と、その監督・新井卓氏、赤坂憲雄遠野文化研究センター所長の対談があります。
 ◆日時 12月13日(金)18時半～20時
 ◆場所 遠野市立博物館
 ◆申し込み・問い合わせ (一財)遠野市教育文化振興財団 TEL:62-6191

★問い合わせ:遠野市東館町3-9(遠野市立博物館内)/TEL:60-2800/FAX:62-5758/MAIL:tono100@city.tono.iwate.jp

まちの話題

創立40周年 遠野市空手道連盟

40周年記念式典が11月9日、あえりあ遠野中ホールで開催され、関係者ら約80人が同連盟の歩みを振り返りました。同連盟は昭和53年に遠野市空手道協会として創立。同56年に

スポーツ少年団に登録しました。現在は、遠野・上郷・宮守に道場を構え、総勢約50人が所属。技術と伝統を受け継ぎ、全国の舞台上で多くの選手が活躍しています。

Interview



遠野市空手道連盟会長 菊池 康さん

「空手を習いたい」という子どもの熱意が活動の原動力。憧れの先輩と成長して、後輩に受け継ぐ。そうしてみんなで繋いできた40年でした。「楽しく、夢を持って」取り組めるような空手を伝え続けたいと思います。



宮守スポーツ少年団



遠野スポーツ少年団



上郷スポーツ少年団